南部町のいきものたち ㊽

# オシドリ

西にて　（撮影：桐原佳介）

環境省RDB 情報不足(DD)
鳥取県RDB 準絶滅危惧(NT)

## ■意外と町内にいます

県西部にお住まいの方は、オシドリを見るなら日野町の根雨駅そばにある「オシドリ小屋」というのが定番でしょう。10～3月の朝か夕方に観察小屋に入れば、ほぼ確実に色鮮やかなオシドリに出会う事ができます。ところが、日野町まで行かなくても、奥絹屋、原、西、井上、田住、緑水湖、花回廊など、南部町内のため池でも10～50羽ほどの群れを確認しています。オシドリ小屋ほどではありませんが、越冬地として我が町を選んでくれているようです。しかし、残念ながら町内では彼らをゆっくりじっくり観察することはとても困難です。私が、ため池の堤からひょいと顔を出しただけで、バサバサッと一気に飛び立ってしまいます。そのため、南部町のオシドリを撮影するのにはかなり苦労しました。

## ■オシドリ夫婦の真実

仲睦まじい夫婦を表す「オシドリ夫婦」。もしかしたら、結婚式のスピーチで使ったことがある方もいらっしゃるかもしれません。実際、越冬している出来上がったカップルは、お互いに羽繕いをしたり、寄り添ったりと、見ているこちらが照れるくらいのラブラブぶりですが、この関係はワンシーズンのみ。来年はまた相手が違うというのが、彼らにとって普通なのです。ですから、動物生態学的にオシドリ夫婦といいますと、相手をとっかえひっかえすることなので、使い方にご注意下さい。ちなみに長年寄り添う事が分かっている野鳥は、タンチョウやシマフクロウなど大型の鳥類が知られています。

## ■鳥取県に約千羽

環境省は毎年1月中旬に全国一斉ガンカモ調査を行っています。平成24年のデータ(暫定値)では、鳥取県に約千羽のオシドリが飛来していることが分かりました。そのうち600羽ほどは根雨で記録されています。県の鳥オシドリは、どんぐりが大好物の森のカモです。子育ては大きな樹洞で行います。森の豊かさを示す彼らが、これからも南部町に来てくれればと思います。

自然観察指導員　桐原真希

## 祐生出会いの館【緑水湖畔】インフォメーション　■開館時間：9時～17時　■休館日：毎週火曜日

（スタール博士の来訪３）食事は、妻さきのさんと近所の婦人連の協力で、道具・野菜等を持ち寄った心づくしのものでした。そして紅蘭湯、菊の葉菓子、筍の漬物を出し、夜は紫蘇飯にしたのは、文人画の四君子に描かれている蘭・菊・竹・梅を表したつもりでした。次に五節句として、正月飾り、七夕飾り、五月の節句は兜と菖蒲の軸を掛け粽を食べていただきました。雛祭りは、天神様の泥人形を始めお雛さんを出し「いり米」を供えました。さらに土俗玩具をお目にかけましたが、本人的には密かな自慢のコレクションでした。夜の部は武信に移動して行うことになりました。（以下次号）

祐生最初の多色（５色）刷り〔大正14年９月〕

〒683-0351 鳥取県西伯郡南部町法勝寺377番地1　発行／南部町 企画政策課　☎(0859)66-3113　E(0859)66-4426
制作／NPO法人 なんぶSANチャンネル　☎(0859)66-3331
http://www.town.nanbu.tottori.jp　E-メール nanbusan@town.nanbu.tottori.jp
No.98
PRINTED WITH SOY INK この印刷物は大豆インキを使用しております。